

## 東通村コン vol.1 事業報告！

2月6日（土）東通村まち・ひと・しごと地方創生事業として、人口減少・少子化対策のために、東通村内在住の独身者に出会いの場を提供する「東通村コン vol.1」を開催いたしました。

当日の参加者は、男女各9名、計18名が参加し、「お見合いルーレット」をはじめ、フリータイムでのトークやコミュニケーションゲームなどで親睦を深めました。イベントの締めくくりは、意中の相手の名前を記入し投票してもらう、カップル投票を行いました。その結果、6組のカップルが誕生し、参加者は、とても充実した時間を過ごしました。

なお、引き続き3月に東通村コン vol.2, vol.3 を開催する予定です。イベントの詳細は、広報ひがしどおり3月号の折り込みチラシをご覧ください。



〈お問合せ先〉東通村経営企画課地域戦略グループ（27-2111）

## 住民目線で、ジオパークへの意見

2月13日（土）に「ジオパークセッション in 下北ジオパーク」が開催されました。

会場となった下北文化会館には、下北郡内各市町村から多数の来場者が訪れ、今年度の再申請、そして認定を目指す下北ジオパークについて理解を深めました。

第1部では、アジア太平洋ジオパークネットワーク諮問委員の渡辺真人氏をはじめ、国内のジオパークでガイド員や推進員としてご活躍されている方々を講師にお招きし、現場での経験を踏まえたユーモア溢れる講演が行われました。

第2部では、各市町村の住民がパネリストとして参加。講師の皆さんに住民目線の質問を投げかけました。パネリストは、今まさに、ジオパーク活動に身を置き、更なる展開を目指す皆さんです。

東通村からは氣仙亮輔さん（入口地区）がパネリストとして参加し、若い世代が地元に興味を持つ仕組み作りや、ジオパーク活動の教育分野への活用について意見交換しました。講師陣からは、ジオパーク活動の教育としての活用は非常に有意義で、山間部の児童・生徒と海辺の児童・生徒を意図的に現地で交流させることで、新たな発見や理解につながるのではないか…という助言がありました。

セッションでは、客席からも活発な意見・質問が飛び交い、講師の皆さんは下北地域のジオパークへの気運の高さを高評価していました。

今後、東通村も含め、さらに住民の皆さんが勉強会やガイド員として参加することが、下北ジオパークとしての地盤を築いていくと感じられる、たいへん貴重なセッションでした。



意見交換をする氣仙亮輔さん（中央）